

EcoKeeperWatcher

言語切替用ファイル

コード指定方法

2020年2月29日

株式会社システム計装

1. 言語切替について

EcoKeeperWatcher では、主にメイン画面の表記言語を切り替えることができます。言語切替は、メイン画面上部のツールバーの右側のコンボボックスの操作によって行います。



EcoKeeperWatcher は、3つの言語をサポートします。

上記画面のように、「日本語」「English」「Language」の3つのなかから選択することができます。

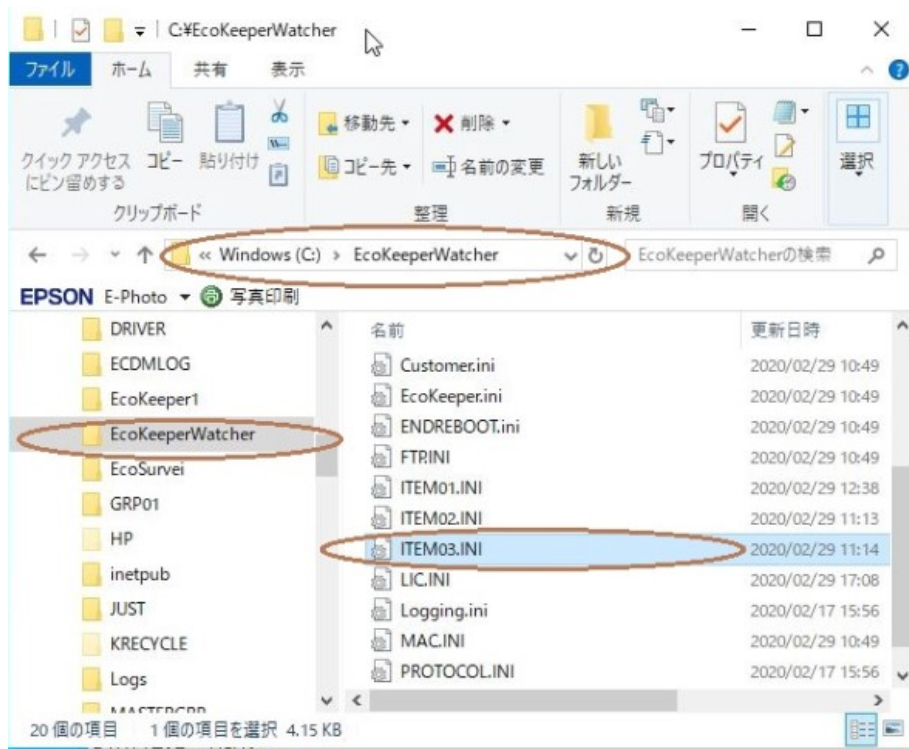
セットアップ時、「Language」を選択した場合、英語表示になります。

英語以外の言語を表示するには、「ITEM03」（拡張子付きファイル名：ITEM03.INI）を修正する必要があります。

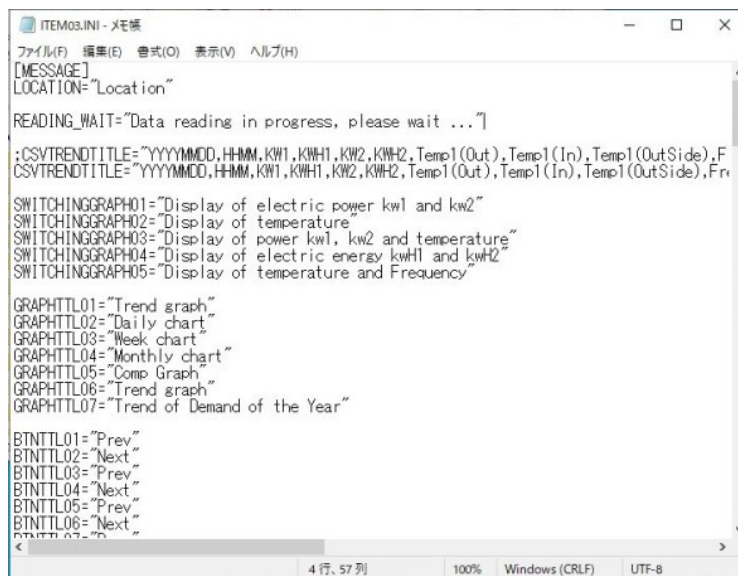
2. 言語切替用フォルダーとファイル

「ITEM03」（拡張子付きファイル名：ITEM03.INI）は、「C:\EcoKeeperWatcher」フォルダーに格納されています。

下記画面は Windows エクスプローラで「C:\EcoKeeperWatcher」フォルダーの内容を閲覧する画面です。



ここで、「ITEM03」（拡張子付きファイル名：ITEM03.INI）をダブルクリックすることで下記画面のようにメモ帳が開きます。

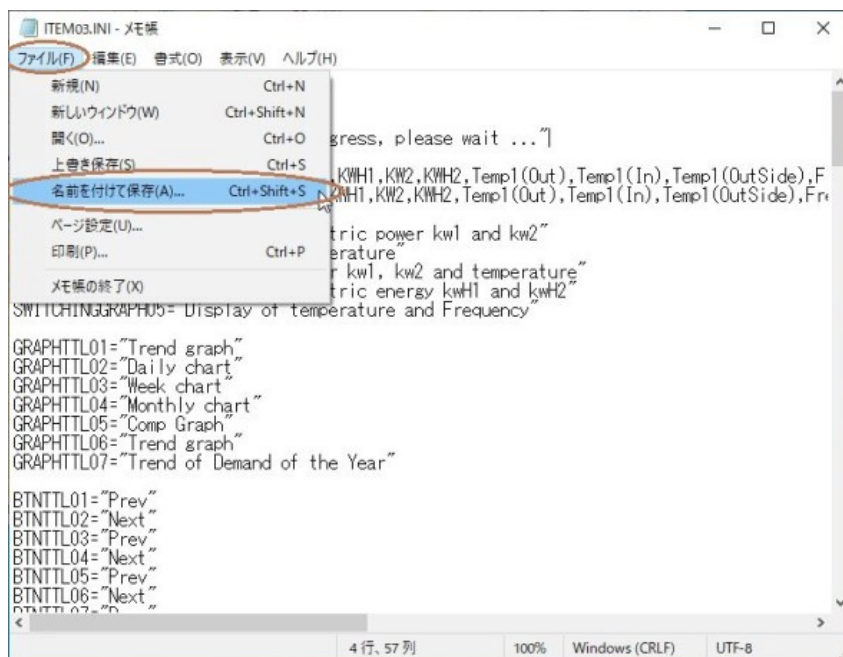


ここで、表示変更のためファイルの修正を行います。

修正するのは、例えば、「ITEM01="File"」の場合、「=」の右側の文言を修正します。

3. ファイルの保存

ファイルの修正が完了したら最後に保存になります。通常は上書き保存で保存を行います、
ここで、コード体系を指定して保存する手順を示します。

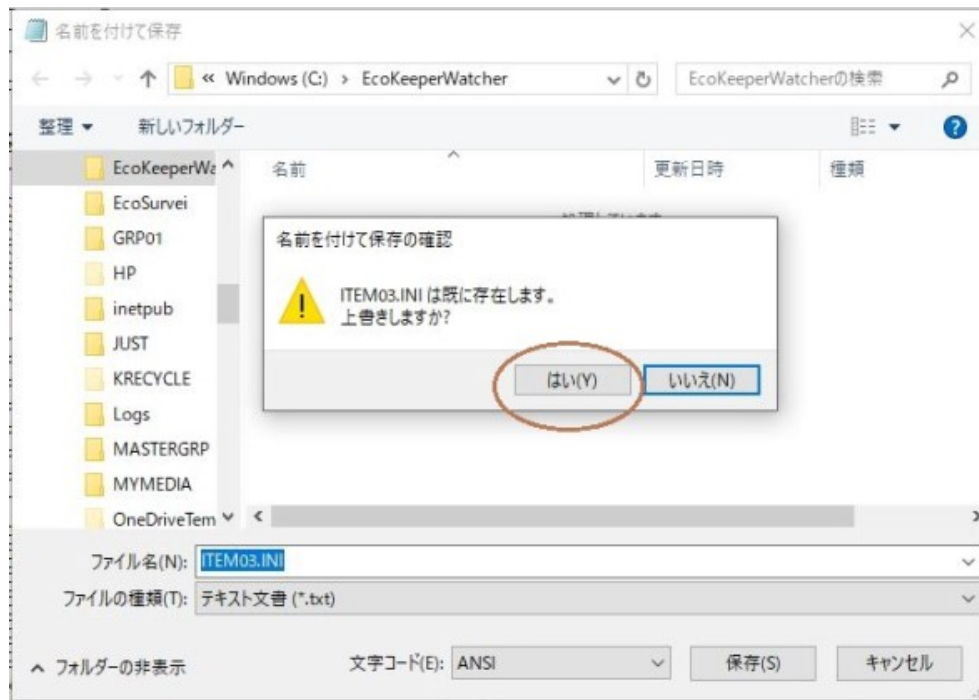


「ファイル」メニューの「名前を付けて保存」を選択します。



ここで、画面下部の「文字コード」を「ANSI」であることを確認します。
ファイル名はそのままにして、「保存」をクリックします。

「保存」をクリックしたら下記のように上書き保存の確認画面が表示されます。



ここで、「はい」をクリックして保存作業を続行します。
これで修正作業が完了しました。

4. 言語切替実施

EcoKeeperWatcher を再起動します。



ここで、言語切替のコンボボックスを操作して「Language」を選択します。
上記の「ITEM03. INI」ファイルの修正結果が反映されたことを確認できます。